

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391

FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所

TEL. 06 (6349) 0241

FAX. 06 (6349) 9865

油機事業部内

### 平成 27 年の年始の会開催

皆様、新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

さて、恒例の平成 27 年の年始の会が 1 月 16 日 (金) 午後 3 時より東京プリンスホテル 2 階の「マグノリアホール」において開催されました。当日は、梶本会長以下会員各社より 133 名が、また、来賓として経済産業省大臣官房審議官製造産業局担当の高田修三審議官を初め学会の築地会長等多くの先生方に加え関連業界の関係者等 137 名の総計 270 名余の皆様方のご出席のもとフルードパワー業界の新年の門出を祝いました。定刻に事務局から「これより一般社団法人日本フルードパワー工業会の平成 27 年の年始の会を開催いたします」との開会宣言があり、



挨拶する梶本会長

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

平成 27 年年始の会開催	1	技術調査事業	5
委員会開催・活動状況		工業会ニュース	6
国際交流事業	4	統計資料	8
標準化事業/ISO 対策事業	5		
標準化事業/規格事業	5		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

続いて梶本会長から以下の要旨の挨拶がありました。

「新年明けましておめでとうございます。

また、本日はご多忙の中にも拘りませず、当会の年始の会に、大臣官房審議官の高田修三様を始めとする経済産業省、日本フルードパワーシステム学会、関連団体、そして会員各社等、多くの皆様方にご出席を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のおわが国の経済環境を見ますと、一昨年からはまったデフレ脱却を目指した超緩和金融政策を柱とする「アベノミックス」政策により景気は緩やかながら回復基調で推移していたといえます。しかしながら昨年4月に実施された8%への消費税引き上げによる個人消費の落ち込みは想像以上に大きく、2四半期続けてのマイナス成長となりました。その結果、政府が最低限必要と考えていた消費税10%への引き上げは、一年半先送りされました。この間、昨年10月に日本銀行による第2弾の金融緩和策から為替は円安に、株価は株高にそれぞれ大きく動きました。こうした状況から輸送機械業界を初めとする多くの大手企業の本年3月期決算は、過去最高の業績が期待されております。一方、円安により原材料や燃料等輸入価格が上昇し、中小企業や家計には負担増となる影響もあり、未だ消費行動が慎重になっている面も見逃せません。

こういったことから、今年は経済を好循環させ、消費者マインドを改善させるために、節目となる大切な一年と言えます。法人税引き下げや、投資を促進させるための税制の改革、女性活躍を主とした雇用政策、地域経済活性化による地方創生などの施策を早期に実現させることが不可欠だと考えます。また、賃金上昇による経済の好循環化により早期のデフレからの脱却を成し遂げ、元気な日本が再興されることを期待しております。しかしながら、原油価格の暴落等による資源国の低迷もここにきて顕在化してきており、BRICSと呼ばれる新興国の動き等世界経済の動向を注意深く見守っていきたいと思っております。

ところで、私たち日本フルードパワー工業会は、昨年9月に3年ぶりに第24回IFPEX2014を開催しました。「超える技術、価値ある未来のものづくり」をテーマに、会員各社による新たな提案やデモンストレーションなどを通して、フルードパワー産業の新技术や新製品を、あらためてアピールすることができたと思えます。

さらに油圧、空圧とならび、新しい力として注目される水圧システムにもスポットを当てたり、産学連携コーナや学会セミナーを充実させたり、海外メー

カの出展など、フルードパワーの新たな魅力も発信することができました。

また、世界経済のグローバル化が進展するなかで、FTAやTPP等の経済連携協定も拡大する方向にあり、我々を取り巻く環境は、大きく変化してきます。工業会としても、日本の政府機関や現地の工業会団体と連携し、各国の市場動向やリスクの把握を行い、タイムリーに情報提供することで、会員企業の海外事業展開をしっかりと支えて参ります。

昨年は青色発光ダイオードの開発により、3人の日本人がノーベル物理学賞を受賞されました。世界中の人たちが幸せを感じる素晴らしい開発だと思いません。日本フルードパワー工業会も、世界中の人たちの暮らしを豊かにするために、ありとあらゆる所で役に立てるよう、さらなる努力をしたいと思えます。2020年には東京五輪が開催され、2027年にはリニア新幹線が開業します。世界が注目するこれらの大きな事業は、日本経済に、必ずより良い影響を与えます。この千載一遇のチャンスを生かし、私たちの子孫が安心して暮らすことのできる国を築くことが、我々に与えられた使命ではないでしょうか。

日本フルードパワー工業会として、皆さん一人一人の力をお借りしながら、競争と協調の中で、一歩先を見据えた価値観の創造に努めて参りたいと思っております。今一度、皆様方に更なるご協力をお願いいたします。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。」

続いてご来賓を代表して経済産業省大臣官房製造産業局担当の高田誠審議官より、以下の要旨の御挨拶を頂きました。

「新年明けまして、おめでとうございます。

只今、ご紹介いただきました経済産業省製造産業局の高田でございます。このような機会をいただきまして誠にありがとうございます。この場をお借りして、一言ご挨拶をさせていただきます。

まず、フルードパワー工業会ということで、実は私は3年ほど前に製造産業局に配属されるまで、正直、フルードパワーとは何だったかなと思う者の一人だった訳ですが、皆様との関わりを仕事で持つほど、また昨年のIFPEXのような素晴らしい展示会を見学させていただく中で、これは素晴らしい産業であると強く認識させられました。

今、日本の貿易収支は赤字という状況です。しかし、中にはしっかり稼いでいる業種も有ります。輸送機械、産業機械などいずれも駆動部位を有する機械が日本の貿易収入を支えています。それら機械の駆動部位に無くてはならないのが、皆様が開発され

る高度な部品であります。さらに、航空機分野であれば年5%の成長を遂げている。このような産業分野で活躍されている工業界会員企業も数多くあることでしょう。

また今、総理のイニシアティブの下で、「ロボット革命実現会議」が開催されているところですが、ここでもまた、より優れたアクチュエーター技術の開発という面における一つのコアとして、油圧、空気圧、水圧といった素晴らしい技術が、様々な委員の意見として紹介されている状況であり、非常に頼もしい、ありがたい産業であると私自身思っているところであります。今年の賀詞交歓会では、経済産業省の人間は是非各地でこれを紹介し、各社経営陣の皆様をお願いをしてきてくれと言われております。



挨拶する高田審議官

一方、昨年末、税制改正の議論がございました。これについて、2.51%の法人税減税引き下げが最終日よりも数日前に決まりました。しかし、それでもなお、成長戦略としてそれだけで足りるのかという議論の中で、残り0.78%、2年間で3.29%の法人税を下げること、また研究開発減税の控除額の上限も決して引き下げないという形で、産業界の皆さんに、より成長しやすい環境を提供するのだという折衝を続けて参りました。また今週、平成27年度予算も閣議決定されました。解散総選挙に伴う政策決定の遅れをなんとしても取り戻したいという思いで現在取り組んでおります。アベノミクス当初は金融緩和と大胆な財政出動、そして一年目はそれを踏まえた円安と株高により、経済を引っ張ることができました。そしていよいよ今年はそれに呼応する産業界での成果、女性をはじめとする新たな働き手の開拓、また、願わくば賃金の上昇を進めていただきまして、可処分所得の拡大と内需の拡大という好循環が生まれ、是非、我が国の飛躍に繋がる年であって欲しいと願

っています。皆様の益々のご尽力をこの場をお借りしましてお願い申し上げます。今年は「未年」ということで、良く言われますのは、未来の「未」という字は、「木」に一方短い棒を書いたものであり、木にこれから葉が生い茂って行く様を示しているというものです。

是非この「未年」に皆様が将来に向かった発展の力を蓄え、良き年になりますことを祈念いたしまして私のご挨拶とさせていただきます。」

その後、懇親会に移り16:40頃に和気あいあいのうちに散会しました。



盛況な年始会会場

#### 第73回理事会の開催

第73回理事会を13:30から東京プリンスホテル11階の「高砂の間」において開催しました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告を行い本理事会が有効に成立している旨説明しました。梶本会長が会議の開催を宣し審議に入り、来賓として出席していた経済産業省製造産業局産業機械課の服部課長補佐、中島係長のお二人のうち服部課長補佐に挨拶をお願いし、以下の要旨の挨拶がありました。

「ご紹介いただきました産業機械課の服部です。最近の経済問題や予算等については、この後の年始の会で高田審議官から挨拶があるので、私からは昨年末の補正予算や税制等について簡単にご報告します。昨年末に編成された3.5兆円の補正予算では、「ものづくり補助金制度」や「省エネ機器導入の導入補助金」等が含まれており、企業の皆様方の積極的なご利用をお願いします。また、年末に決まった税制改正では、来年度から法人税が2.51%に引き下げられ、さらに平成28年度には3.29%までに引き下げられることが決まりました。本日は資料を持参できませんでしたが、早急に工業会事務局に電子媒体による資料を配布しますので、皆様方にはぜひご利用いた

だきたく事務局へのご連絡を宜しく願います。」

次に梶本会長は、議事録署名人として代表理事及び監事2名を指名するとともに第72回理事会以降の会長の業務報告を行いました。次に議事の審議に入り、第1号議案

平成27年度事業計画及び収支予算（案）の件

平成27年度の事業計画及び収支予算（案）は前年度中に理事会の承認を得ることが定款で定められているため、12月の月報で報告した平成27年度事業計画及び収支予算（案）の内容に一部加筆修正したものを説明しました。また、併せて来年度の補助金等の申請状況についても説明しました。梶本会長は本件を議場に諮り、異議なく承認されました。

なお、梶本会長から、今後3月までの間に追加事業・予算変更等が生じた場合には、事業計画及び収支予算（案）を修正して4月の理事会で再度提案説明し、審議をお願いすることが必要である旨の説明を行いました。

第2号議案

第16回定時総会の開催の件

定時総会の開催に係る事項については、あらかじめ理事会の承認を得ることが必要であります。そこで、本年5月14日（木）開催予定の定時総会に提案する議案について説明しました。梶本会長は本件を議場に諮り異議なく承認されました。

第3号議案

工業会規程の追加制定

平成28年に60周年を迎えることもあり「記念事業積立資産取扱規程」を制定したい旨説明しました。梶本議長は本件を議場に諮ったところ、一部質問があったが、事務局等から丁寧な説明を行い本件は承認されました。

第4号議案

その他

業務執行理事である専務理事の業務執行状況の説明と需要見通しの見直しの件や最近の出荷動向・今後のスケジュールについて事務局より説明しました。以上で審議を終え14:50に終了しました。その後、15:00より2階の「マグノリアホール」において平成27年の年始の会を開催しました。



第73回理事会

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

中国・遼寧省 阜新油圧産業団地への誘致説明会

日時 1月19日（月）10:00～11:30

場所 機械振興会館311号室

出席者 劉雁副主任 他7名

事務局 藤原、鎌原、堀江

議事

産業開発区に於ける油空圧産業のモデル基地として認定する事業について説明したいとの要望があった。当日は、初めに藤原専務より業界及び工業会の概要を説明した後、中国側から阜新市及び開発区誘致の説明を聞いた。事務方の感想としては、大連、瀋陽などの近くにあるものの誘致のための好条件もなく、会員企業の興味が得られるのか疑問が残った。



遼寧省国際経済技術合作集団との会合

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜  
標準化事業／ISO 対策事業  
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

油空圧シール小委員会

日 時 1月13日(火) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館1-5会議室

出席者 川口主査以下8名

事務局 千葉

議 事

懸案となっている ISO 3601-2 の改訂に関連し、原稿規格の誤記の訂正とその内容及びポイントとなる改正案の構成について審議した。続いて、アメリカ案と原稿規格との違いを審議し、日本のコメント案を検討した。

\*ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案

(TC131)

FDIS 3723 Hydraulic fluid power — Filter elements — Method for end load test

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜  
標準化事業／規格事業  
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

制御技術分科会

日 時 1月22日(木) 13:30～16:00

場 所 機械振興会館1-5会議室

出席者 田中主査以下4名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、今年度テーマである JFPS 2010 空気圧—圧力スイッチ用語の見直し案についての懸案事項を審議した。最後に、全体を通して確認をした。次回以降、規格の体裁について検討する。  
次回開催：4月16日(木)機振会館1-5会議室

油空圧シール分科会

日 時 1月23日(金) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館6S-2会議室

出席者 川口主査以下12名

事務局 千葉

議 事

川口主査の議事進行により前回議事録及び配付資料確認を行った。まず、平成27年度B区分で申請予定の JIS B 8395 の改正に関し、IDT 形式の原案につ

いて説明があり、審議を行った。

次に、工業会規格 JFPS 1017 「シールの用語」の見直し案についての審議を行った。続いて、ISO 2230 に基づく工業会規格「ゴム製シール—保管に対する指針」案について審議し、終了した。

最後に、ISO 関連として、ISO 6194-3 定期見直しへの対応を確認し、ISO 3601-2 アメリカ案への対処及び日本の改正案について討議した。

次回開催：4月10日(金)機振会館B1-3会議室

空気圧システム分科会

日 時 1月26日(金) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館1-5会議室

出席者 張主査以下6名

事務局 千葉

議 事

改訂版リスク低減に関するガイドブック (JIS B 8370:2013 準拠) 案について継続審議 (エアドライヤの途中まで) した。

次回開催：3月27日(金)機振会館1-5会議室

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜  
技術調査事業  
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

技術委員会空気圧部会第507回特許分科会

日 時 1月23日(金) 13:00～17:00

場 所 機械振興会館6-61会議室

出席者 佐藤幹事以下6名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効審判請求について審議した。継続中の4件について、1件については弁理士の見解を求めることとした。1件については審議を終了することとした。2件については新たな証拠資料の提出もあり、引き続き調査を継続することとした。

次回開催：2月20日(金) 名古屋市中小企業振興会館 第9会議室

技術委員会油圧・空気圧部会長会議

日 時 1月28日(水) 15:00～17:00

場 所 機械振興会館311号室

出席者 伊藤和巳油圧部会長

土井高司空気圧部会長

事務局 千葉、大橋

議 事

両部会主導で毎年度実施している若手技術者懇談会の来年度企画案を検討した。この結果、本年度も昨年に引き続き、講演と参加者による発表・討議を主体とする懇談会を実施し、さらに懇親を深めるため企業・大学研究室見学会など、年間2回の開催を計画することとなった。また、両部会の今後の活動に関連して、産学連携事業の具体的活動内容、「フルードパワーの世界」追補版発刊に付随するセミナー・出張講義の開催の進め方、さらに平成28年に迎える60周年の記念行事などに関しても意見交換を行った。

~~~~~

### 会員ニュース

~~~~~

#### ☆社長の交代

(正会員)

イハラサイエンス(株)から社長の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

平成27年1月1日付

イハラサイエンス株式会社

(新任)

代表取締役社長 長尾 雅司

(退任)

代表取締役会長 中野 琢雄

~~~~~

### 工業会ニュース

~~~~~

#### ☆ヨコタ工業(株)平成26年度優秀省エネ機器表彰制度で日機連会長賞を受賞

(一社)日本機械工業連合会(以下、「日機連」という。)が主催する「平成26年度優秀省エネルギー機器表彰志度」で当会の会員企業である「ヨコタ工業(株)」さんが、日機連会長賞を受賞されましたのでお知らせします。おめでとうございます。

なお、表彰式は、平成27年2月12日(木)に経団連会館で行われます。

~~~~~

### 今後の主要行事予定

~~~~~

#### \*平成27年

☆2月12日(木)技術講演会

(場 所) 機振会館

☆2月18日(火)国際及び中小企業合同講演会

(場 所) 機振会館

☆4月18日(金)第74回理事会

(場 所) 東京プリンスホテル

☆5月15日(木)平成27年度定時総会

(場 所) 東京プリンスホテル

☆5月15日(木)総会後の懇親会

(場 所) 東京プリンスホテル

☆5月16日(金)懇親ゴルフ会

(場 所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

OUT・IN各3組

~~~~~

1月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業/ISO対策事業)

油空圧シール小委員会

開催日 1月13日(火)

出席者

主 査 川口 葵(阪上製作所)

委 員 南 暢(日本バルカー工業)

〃 細川 敦(三菱電線工業)

〃 方波見栄次(荒井製作所)

〃 中尾雅司(NOK)

〃 守尾 亮(NOK)

〃 太田正貴(阪上製作所)

〃 小畑博美(JFPA)

(標準化事業/規格事業)

制御技術分科会

開催日 1月22日(木)

出席者

主 査 田中 広(CKD)

委 員 金子幸夫(コガネイ)

〃 高橋隆通(甲南電機)

〃 楊 春明(SMC)

油空圧シール分科会

開催日 1月23日(金)

出席者

主 査 川口 葵(阪上製作所)

委 員 小畑博美(JFPA)

〃 南 暢(日本バルカー工業)

〃 中尾雅司(NOK)

// 松本直樹 (NOK)  
// 方波見栄次 (荒井製作所)  
// 保科俊明 (SMC)  
// 太田正貴 (阪上製作所) ~~~~~  
// 細川 敦 (三菱電線工業) 月間行事概要  
// 相場宣慶 (東京計器) ~~~~~  
// 茨木満雄 (ニューエラー)  
// 深町哲也 (CKD) <1月>

空気圧システム分科会

開催日 1月26日(月)

出席者

主査 張 護平 (SMC)

委員 神戸孝典 (甲南電機)

// 上間丈司 (クロダニューマティクス)

// 田中和彦 (TAIYO)

// 加藤猛美 (コガネイ)

// 増尾秀三 (CKD)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第507回特許分科会

開催日 1月23日(金)

出席者

幹事 佐藤 浩 (コガネイ)

委員 栗盛宏樹 (アズビル TACO)

// 井野雅康 (SMC)

// 出澤 大 (クロダニューマティクス)

// 赤松直人 (甲南電機)

// 甲山登紀夫 (CKD)

<1月>

5日(月)

・仕事始め

13日(火)

・ISO(委)シール小委員会

16日(金)

・年始会

・理事会

22日(木)

・標準化(委)制御技術分科会

23日(金)

・ISO(委)油空圧シール分科会

・技術(委)空気圧部会第507回特許分科会

26日(月)

・標準化(委)空気圧システム分科会

28日(水)

・技術(委)油圧・空気圧部会長会議

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---

